

2025 年度 第 1 回一宮市男女共同参画推進懇話会 議事録（要旨）

日 時 2025 年 7 月 7 日（月） 15：00～16：25

場 所 本庁舎 6 階 特別会議室

出席者 12 名

欠席者 0 人

傍聴者 0 人

議 題

- ① 副会長の選任について
- ② 第 4 次一宮市男女共同参画計画推進状況（2024 年度実施状況報告及び 2025 年度実施計画）について
【資料 1】
- ③ その他
 - ・ 2025 年度の男女共同参画啓発事業について 【資料 3】
 - ・ 2025 年度男女共同参画社会づくり「性別を理由にモヤっとした言葉」作品募集について 【資料 4】

【議事録】

議題① 副会長の選任について

委員からの推薦、全会一致により溝上委員が副会長に就任。

議題② 第 4 次一宮市男女共同参画計画推進状況について

資料 1 について（全般）

懇話会委員意見	事務局の回答
<p>・ 企業に対して、男女共同参画に関するセミナーの開催・参加をある程度強制しないと、変わらないと思うが、難しいのか。また、国、県を絡めて大きく実施することもひとつかと思う。</p> <p>・ 単純に女性の比率を上げることで解決する問題も多くあると思う。制度を変えて女性の比率を定めることも必要だと思う。</p>	<p>・ 色々な考え方があり、強制することは難しい。周知することで、少しずつ理解を深めていきたいと考える。</p>

P1 「性的少数者（LGBTQ+）について知っている人の割合」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・目標値に向けて順調に推移していると思うが、目標値の変更はしないのか。知っている人は増えていると思うが、実際に性的少数者が心地よく過ごせているのか、そうではない意見も耳にするので、もう少し踏み込んだ目標にしてもいいのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現計画は3年の短い計画であるため、目標値の変更は難しい。まずは広く知ってもらうというところで、次のステップは、次期計画等で考えていきたい。
P4 通番17「赤ちゃんふれあい体験」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・母親から赤ちゃんとの生活を聞く事業で、母親が子育てをするものと捉えられる。父親も入れるようにした方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業担当課（保育課）へご意見をフィードバックする。
P6 「男性の育児休業取得率」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・増えていくと思っていたのに下がっている。取りたくても取れない人が多い。支援もあるので、もっと知ってもらう必要がある。 	
P7 「市職員における男性の教育や子育てへの参画割合」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに回答した職員は全員、学校等の活動に参加する可能性がある人なのか。 ・学校等の「等」は具体的に何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度において中学生以下の子どもがいる職員を対象としている。 ・見守り隊活動、保護者会・PTA活動、子ども会活動等。
P7 「町会長の女性比率」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる分野で誰もが活躍できる環境の整備ということで立てられた目標だと思うが、数字だけでは測れない。成果指標をこれにした意図を知りたい。 ・どうして比率が上昇したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の成果指標があった方がいいのではないかとこのところから立てた指標。これから防災の関係、町会長の役割など、女性の役員が増えていかないといけなということから、地域の成果指標となりうると考えている。 ・増えた要因は把握していない。地域によってばらつきがあり、20%を超えているところや、1人もいないところもある。

P9 通番 25「女性職員の管理職への登用推進」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
・13人というのはい多いのか、少ないのか。	・一宮市 28.1%。県内の市の平均は 12.6%。全国平均 14.1%。
P12 「パパも一緒に遊ぼう！」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
<p>・母親も一緒に行くことが基本となっている。「パパも」ではなく、「パパと」という事業にしてほしい。最後に母親が父親にありがとうの手紙を書くが、逆じゃないかと思う。</p> <p>・同性同士で子育てしていることもあるかもしれない。そういうことに配慮した言葉遣いも重要だと思う。</p>	・事業担当課（保育課）へご意見をフィードバックする。
P16 通番 64「男女共同参画セミナー」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
・女性向けに行ったセミナーで、就職する側にアプローチしたものか。	・女性の就職支援であるが、昨年は理系への進路・就職選択を応援するセミナーとして、対象を女性に限定せずに開催した。
P18 「DVに関する相談窓口を知っている人の割合」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
・目標の 80%は達成が厳しそうに思えるが、何か取り組みやいいアイデアはないか。	・実際にそういう状況にならないと探さないという人も多い。なかなか 80%は難しい。ただ、いざという時に、ウェブサイトから、すぐに見つけられるような状況を保っていくことは重要だと考えている。
P20 通番 77「子宮頸がん・乳がん検診の受診促進」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
<p>・市の乳がん検診受診者が少ない理由は、マンモグラフィ検査しかないからだと思う。</p> <p>マンモグラフィ検査は痛いので、エコーでの検診も選択できるようにすれば受診者が増えると思う。</p>	・事業担当課（保健総務課）へご意見をフィードバックする。
P22 通番 89「中学校生理用品配布事業」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
・利用している子ども達はいるのか。	・学校、現場の反応については、把握していない。確認しておく。

P24 通番 106「DV 相談の実施」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 91 件の中で、学生はいたか。 ・男性の DV 相談も 1 件あったと記載があるが、どのように対応されるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・20 歳未満の相談はなかった。18 歳未満だと児童虐待ということで対応の仕方も変わってくる。 ・男性の DV 相談も受付している。女性と違って案内できる支援がなかなかなく、助言だけになってしまうこともある。
P24 通番 108「外国人に対する配慮」について	
懇話会委員意見	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・通訳サービスを使った相談の実績 2 件は、どんな内容なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容までは把握していない。
議題 3 その他	
<p>2025 年度啓発事業について意見なし。</p> <p>次回、第 2 回懇話会は 10 月中旬を予定。後日、事務局から通知文を送付。</p>	